



特定技能生を受け入れてみて

社会福祉法人 憩



本日のテーマ・内容

- ◆ 外国人材を受入れた経緯と現状
- ◆ 外国人受入れに関わる戦略
- ◆ 登録支援機関との繋がり、選定のポイント
- ◆ 受入れを進めるうえで障壁や悩み

※具体的なケース紹介



法人・施設概要

法人名	社会福祉法人 憩
施設名	特別養護老人ホーム いこい
事業開始日	平成25年7月1日
所在地	神奈川県小田原市久野4406-1

特別養護老人ホーム
定員 100名



短期入所生活介護
定員 20名



US Dept of State Geographer
© 2021 Google
© 2021 GeoBasis-DE/BKG
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

Google Earth



外国人を受入れたきっかけ・動機

<動機>

- ① **介護人材の不足**
※2013年開設当初より、悩まされ続けてきた
- ② **ケアの質の低下**
- ③ **派遣職員の増加**
※2020年には、10名程度まで増える
- ④ **人材紹介に頼らざる得ない状況**
※求人経費が膨らむ



外国人を受入れるまでの経緯 Part 1

2016年

EPA・技能実習
受入の検討を開始

※2017年より、技能実習に介護が追加される予定

条件が緩い「技能実習」の導入に舵を切る

2017年

1月、湘南社会福祉事業協
同組合※が設立される
※技能実習生の具体的お話し
をいただく

※社会福祉法人で構成されており、信頼できる。また、物品の共同購入をするなど会員メリットも大きい。

9月、上記組合に同行し、
ベトナムを視察
※送り出し機関、日本語学校、
看護学校など

2018年

受入できると判断

施設内で、技能実習生
の受入について説明

管理者や職員から
大反対にあう



大反対の理由

1. 言葉が通じない外国人に、どうやって教育・研修するのか
2. そもそも教育できるような人間的・時間的な余裕がない
3. 生活の面倒は誰が見るのか
4. 外国人に対して良いイメージがない

職員の不安を拭えず

技能実習生（外国人）の受入を断念



外国人を受入れるまでの経緯 Part 2

2019年

4月、新たな在留資格
「**特定技能**」
が創設される

※特定技能は、一定レベルの日本語や技能を有する人材が期待できる

以降、動向に注目するも

進展する気配なし

2020年

1月、技能実習の受入
について再検討開始

2月、**登録支援機関
との出会い**

知人より人材派遣会社を紹介され、外国人の派遣を行っており、**特定技能生**もいるとのこと

試しに面接

- ・ 理事長と事務長の2名
- ・ Skype

**日本語も流暢で好印象
事務長の味方を得る !!**

**受入準備、入社時の研修、
生活の面倒は、理事長が
引き受けることで説得 !!**

受入決定 !!

職員説明会の開催



2020年度 受入計画と現状

計画

在留資格	特定技能1号
人数	3名
国	希望なし
日本語	N3以上
介護経験	あり

<その他>

- ・部屋は、3DKに3人
- ・2021年度に3名、2022年度に3名の受入を行い、計9名まで増員

現状

在留資格	特定技能1号
人数	13名
国	インドネシア
日本語	N4~N2
介護経験	あり5名 なし8名

<その他>

- ・部屋は、3DK・2DK
- ・2021年度に3~6名程度を予定



2020年度 受入計画と現状

なぜ 特定技能？

- ・日本語ができる外国人にしたことで、職員や管理者の不安を払拭した。
- ・介護の経験者もいるため、即戦力を期待した。
- ・入職して直ぐに人員基準の1名としてカウントできる。

なぜ インドネシア？

- ・制度的な問題だと思うが、他国は難しかった。
※今後は他の国も出てくると思いますので、色々検討する必要がある。

なぜ 13名も？

- ・現場職員からの評価が良かった。
- ・法人として派遣・退職者を全て切り替えることにした。

未経験者が8名も、大丈夫なの？

- ・日本人の未経験者と同じ。
- ・研修内容もマニュアルも日本人と同じ。
※時間は長くかかる。漢字は一部フリガナを振る。記録はフォローする。



受入を進めるにあたっての障壁

① 宗教

- お祈りは、休憩室で休憩時間のみ（水の利用なし） ■ヒジャブOK
- 食事はお弁当 ■断食は、業務に支障がなければOK ※お風呂注意

② 担当者の選任

- 理事長が担当者

③ 初期費用

- 先行投資と考えるようにした
※落ち着いて長く勤めて頂けるようになれば、費用対効果は派遣より高いのではないかと

④ 給与

- 月給制で日本人の資格なし3年程度の経験者と同等
※パートタイマー等就業規則を適用 ※経験あり・なしで差をつけても良いかも

⑥ 入居者や家族

- 家族へは書面で通知・紹介、結果的に家族も利用者も問題なし

⑦ 住居の確保

外国人を受入れてくれる部屋（賃貸）が少ない。 ※地域性

⑧ 送迎車

送迎車の利用が増えるため増便（運転手も増員）が必要。 ※固有の問題



受入てから（現在）の障壁・課題

① 手当や残業

雇用条件の勘違いや思い込み、以前の職場との比較から不満となった。
残業が殆どないと伝えると残念な顔をされた。

② 人間関係

同居するインドネシア人同士で喧嘩や仲違いが発生した。
現場職員の指導が厳しくて辛い。 ※怒られると侮辱された、怖いと感じる。

③ はっきり言わない

理解していなくても、「はい」「大丈夫」と言う。
人間関係のトラブルの場合、相手を気遣い、誰とのトラブルか言わない。

④ 転職

特定技能は転職できるため、より条件の良いところを探す人がいる。
渡航費や家電などは法人が負担するため、痛手がなく、転職に抵抗がない。

⑤ 国家試験

既婚者から介護福祉士試験のサポート要請・・・家族で日本に永住したい。

⑥ 自分(お金)都合

一部ですが、職員研修など、疲れたから帰る、参加したくないと断ってくる。
※介護を続けるわけではないので意味がない。給与がでないと思った。

⑦ 宗教

イスラム教とキリスト教は、同居が難しい。
※イスラムは、豚やアルコールが禁止されているため、キッチンが一緒に使えない。



インドネシア人を受入て良かったこと

- ① 仕事に対して、とても真面目で勤怠も良い。
- ② 温厚でお年寄りを敬う気持ちを持っている。



色々課題はありますが、この2点だけでも受け入れて本当に良かったと感じています。



- ✓ 最初に数名受入れた時は、殆ど問題はありませんでしたが、人数が多くなるにつれ、様々な情報が共有され、問題や課題が多く発生しました。
 - 慣れるまでは、数名にしておいた方が良いかもしれません。
 - 複数の国の方を受入れるのも一つの方法かもしれません。



登録支援機関を選定するための視点

前置き：私たちのような小さな法人の場合に限ると思いますが、、、

➤ 技能実習・・・入国前（送り出し機関）の教育が大切

はじめて日本へ来る方が多いため、送り出し機関による入国前の教育が大切となる。日本語だけでなく、日本の文化や習慣などの指導をキチンと行っているかを見極めることが重要だと考える。

➤ 特定技能・・・受入後のフォローアップが大切

既に日本での生活歴がある方が多くいため、日本語や文化・習慣、生活面での混乱はない。しかし、転職が可能であり、以前の職場との比較や、独自のネットワークで情報共有しているため、より良い職場を求める傾向がある。そのため、受入後のフォローアップを手厚く行ってくれる登録支援機関を選ぶことが重要だと考える。



登録支援機関の紹介



商号

株式会社ビオラジャパン
Viola Japan Co.,Ltd.

所在地

神奈川県横浜市西区北幸
1-1 1-5 相鉄KSビル9階

電話番号

045-900-1216

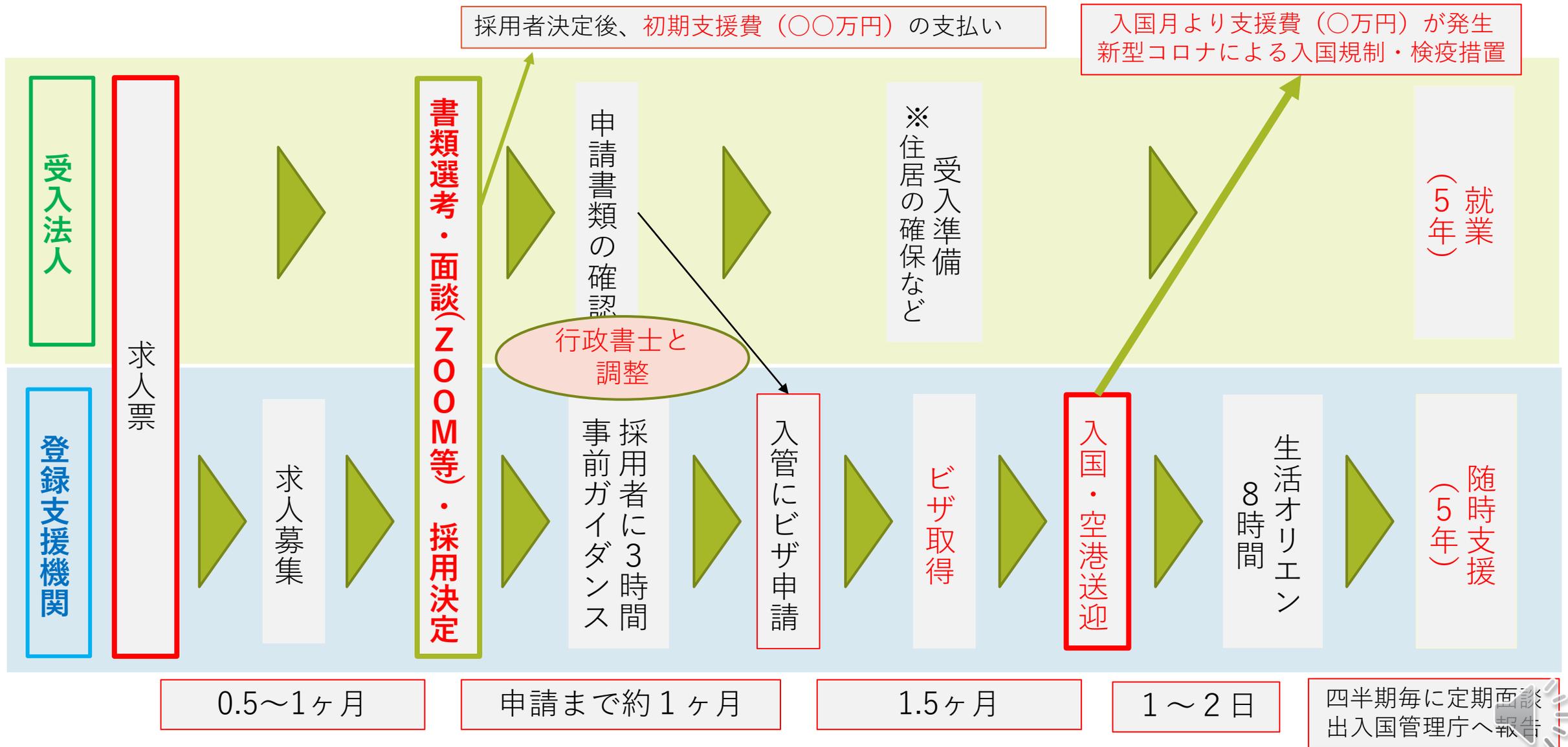
取締役

代表取締役 齊藤 達也
専務取締役 上田 将之
常務取締役 荒川 麻衣
常務取締役 アルヤ ウィラヨダ
監査役 神田 誠

監査役



受入れまでの採用スケジュール



受入れまでの準備

※当法人の場合

日本人職員への説明

- ◆ 特定技能生受入の目的
- ◆ 国や生活・文化（宗教）の違い

準備するもの

1	住居	2DK・3DK、敷金・礼金、保証・保険、手数料など ※毎月の賃料や光熱費は本人より徴収（上限あり）
2	家電	冷蔵庫、洗濯機、炊飯器、電子レンジ、掃除機、テレビ、エアコン
3	家具 etc	テーブル（こたつ）、カーテン、布団、物干し竿
4	近隣の案内図・ゴミ	駅、スーパー、病院、市役所、警察署、郵便局、ゴミの分別表など
5	初日の案内	時間、場所、持ち物など
6	オリエンテーション	法人・施設概要、就業規則など
7	研修資料	文化・習慣の違い、介護全般（日本人とほぼ同じ）など

※住民票や銀行口座、Wi-Fiの契約、引越し初日の買い物などは、登録支援機関がサポートして下さっています。



今後の課題

- 介護福祉士試験合格に向けたサポート
※現在、毎週（月）に受験対策講座を開設している。
- スキルレベルに応じた研修・キャリアプラン
- 規則の整備（手当等の処遇面）
- 長く勤めて頂くための魅力創出

※礼拝室や宗教食の整備まで出来ればよいが、現状では難しい。





ご清聴ありがとうございました。



i-koi.net

